

2018.8.6

株式会社フクフクプラス

報告書

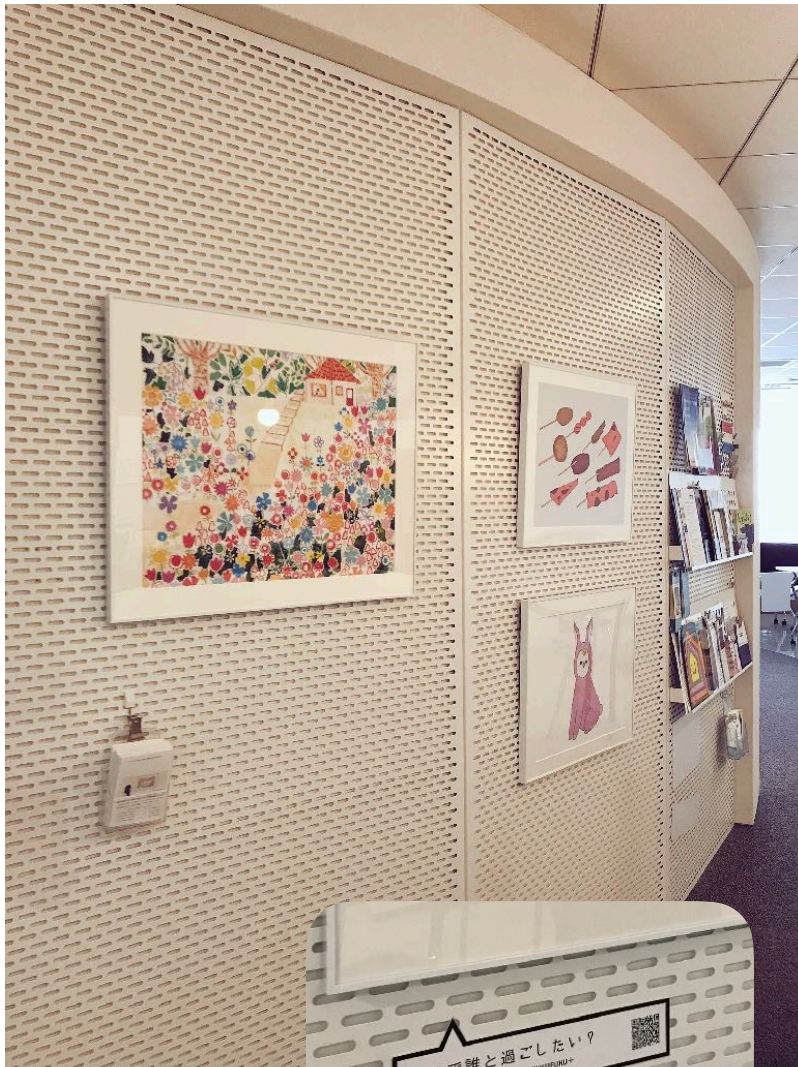
オフィスにおける障がい者アートの
掲示あり・なしを比較した
アンケート調査

アンケート調査実施方法

オフィスにて以下の環境を再現し、同オフィス内のワーカーにアンケートを実施。



アンケート調査実施の様子



協力：株式会社ミライロ

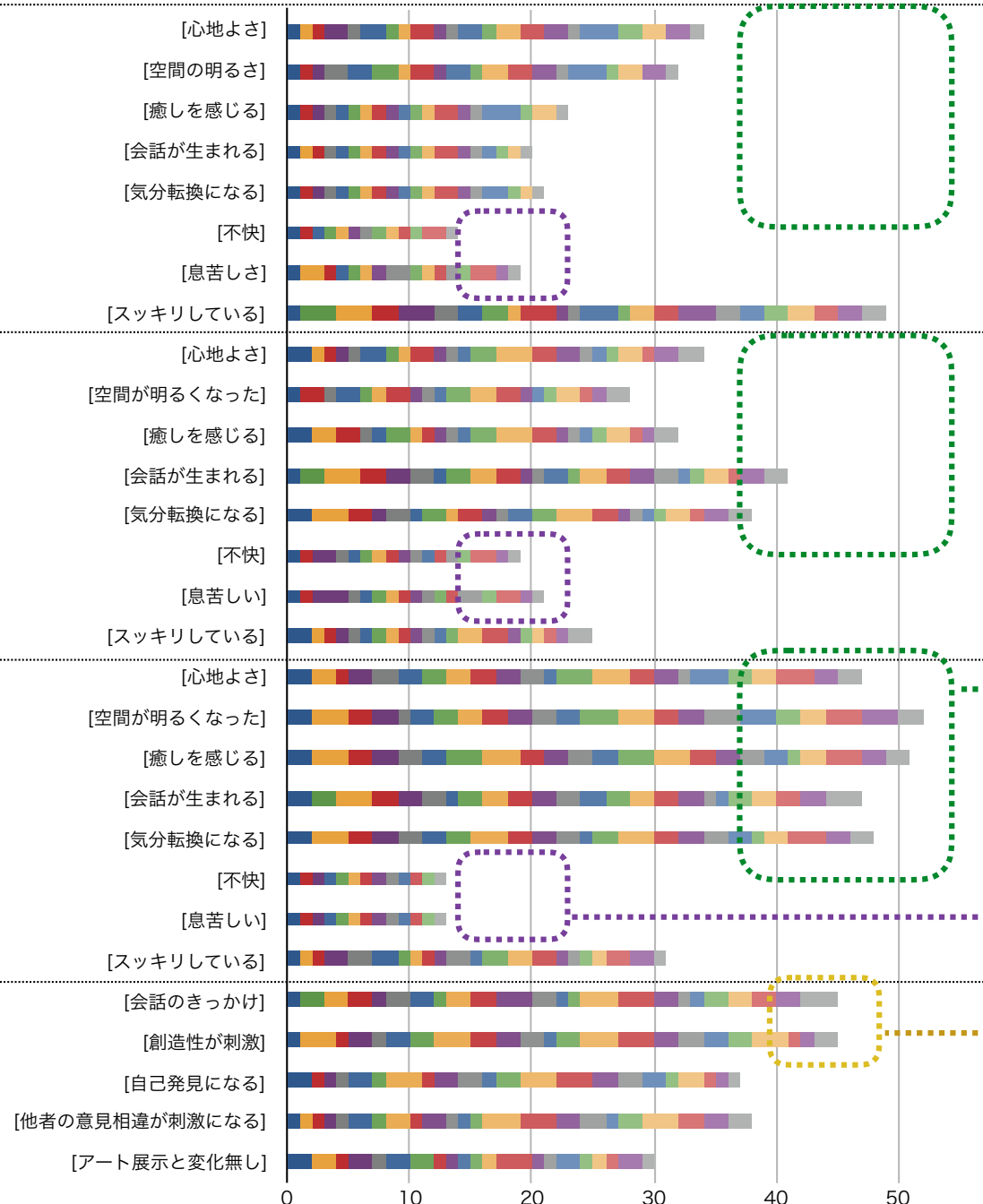
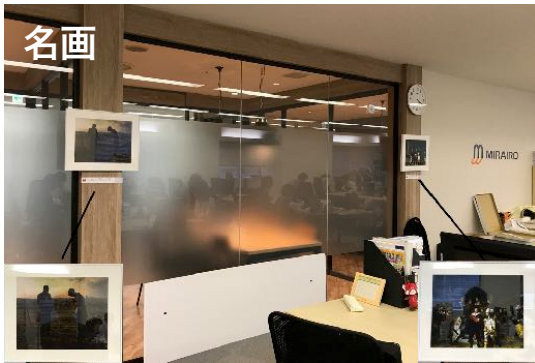


対話を促すミニパネル

協力：カタリストBA

アンケート結果 評価項目グラフ

実施：2018年4月～6月
n=25



障がい者アートは心地よさ、癒し等で高スコア

障がい者アートはアートが無いオフィスより圧迫感がない

問いの掲示も一定の評価がある。

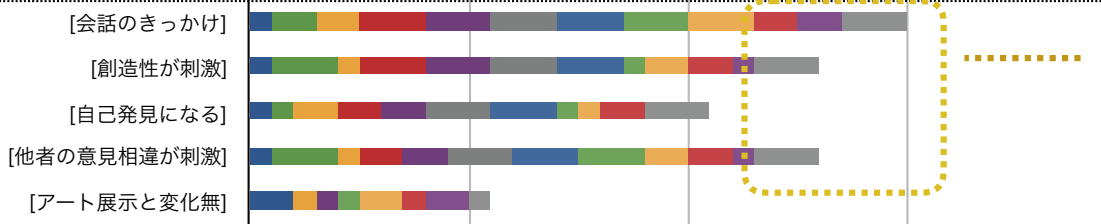
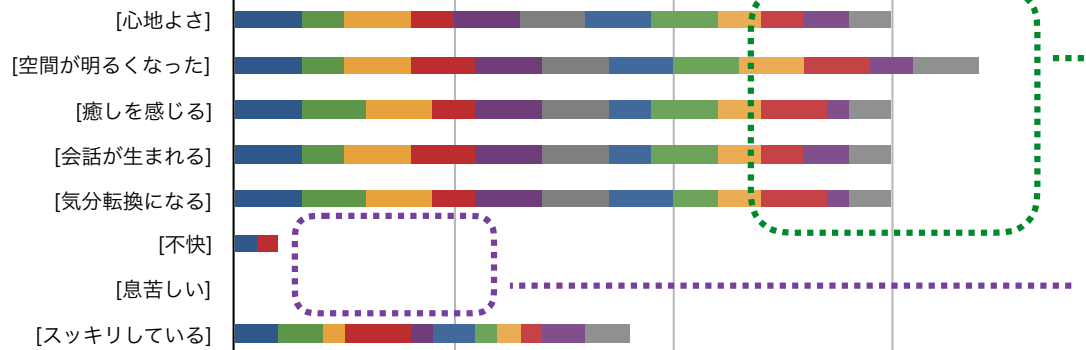
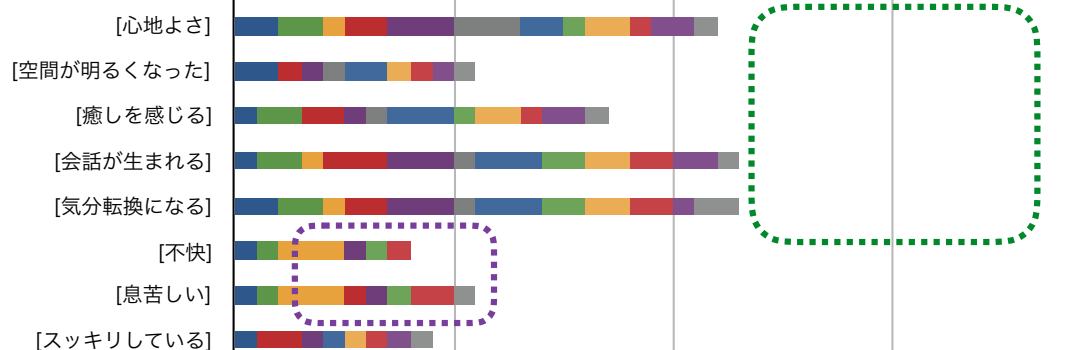
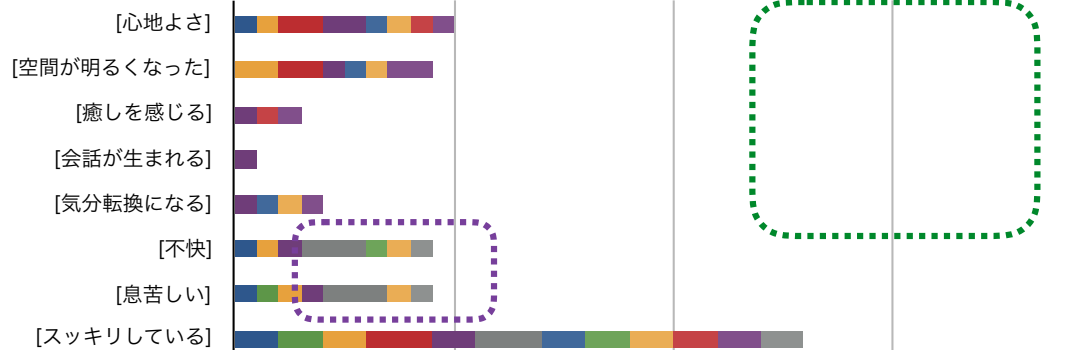
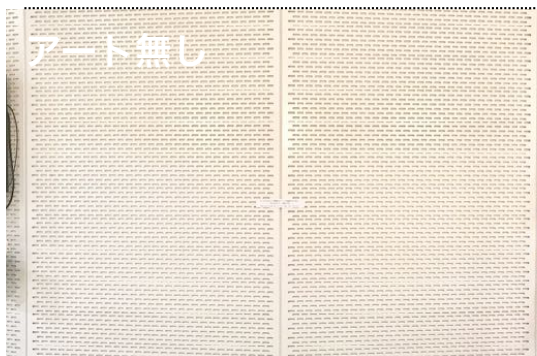
オフィス内でのアートについて、どのような活用があると思いますか？	性別	年齢
リフレッシュの目的が強いです。	男性	23
アートの多いオフィスにすることで、 創造性が豊か になる。	男性	24
効果的な活用方法は思いつきませんでした。	男性	25
定期的にアートを変えることで、 オフィスの雰囲気を変える ことができる。	男性	27
癒しの空間づくり	男性	28
疲れた時のリフレッシュや 癒やし の空間づくり	男性	28
オフィス内というよりは、休憩室などリラックスできるスペースにアートがあった方が、よりリラックスできて良いのかなと思います。むしろ、オフィススペースは効率がアップするように、スッキリしている方が良さそうな気がします。	男性	32
精神的に安定する と思います。場が締まります。	男性	
触って楽しめるアートや音楽と合わせるアートなど参加型アートは息抜きになると思います。	女性	23
会話が生まれる、気分転換 になる	女性	25
今まで知らなかったメンバーの新たな一面を知ることができる。 気分転換 になる。	女性	27
障害者アートへ興味を持つきっかけになりました。	女性	28
お客さんとの面談の場にあると会話のきっかけ になりそうだと思います。	女性	30
レンブラントとミレーの絵画は、陰気で描写が細かすぎて好みではない。陰気な絵画なら何もないほうが好ましいと感じる。また、 名画は名画で素晴らしいと思うが、鑑賞していると画法や画家の意図をつい分析してしまい、気やすく楽しめない。頭を使い、疲れる感じがする。 ウサギの着ぐるみとお花畑の絵画は、画家の感性のみで描かれている所感。 見ていて気が楽になり、気持ちも明るくなるように感じる。	女性	42
社内のコミュニケーション活性化（今回は掲示のみでしたが、朝礼のときにアートを活用して意見交換するなど、より積極的な活用をしてもよかったかも知れません。） 多様な考え方や感性があることに対する気づきの促進 （アートを活用した意見交換などを行うことで、同じアートを見ていても、人それぞれ感じる ことがいかに違うのかを再認識できる のではないかと思います。）	女性	45

アンケート結果 自由回答

どんな業種のオフィスにアートの需要があると思いますか？	性別	年齢
一日中オフィスにいるような仕事	男性	23
サービス業	男性	24
業種と需要の関係はないように思います。	男性	25
事務作業が多いオフィス	男性	27
IT系	男性	28
デスクワークが多い業種で需要があると思います。	男性	28
会議室など少し空気がかたくなりそうな場所にあると話のネタになったり空気がなごむかもしれない。また、 かたい場所（例えば、お役所や銀行など）にアートがあっても話題性があってよいかもしれません。	男性	32
作業所など 機械的に作業する場所などにいいかもしれません。	男性	37
全てのオフィスにおいて、特に営業などの殺伐としたチームやクリエイティブなどの集中が必要なオフィス	男性	
デザインなどのクリエイティブな業種。	女性	23
PCに向き合う時間が多く、一人作業が多いオフィス（SE、IT系など）	女性	25
情報（広告・マスコミ・通信）	女性	25
コンサルティング、広告、出版、制作	女性	27
病院、カフェなどの、接客業。同じお客さんが何度も訪れるような場所に置くと、毎回変わるなあ〜と思うと思うので。	女性	28
大学などの教育機関	女性	30
頭を休ませ、リフレッシュ効果のある絵画。疲れた目を休ませる効果のある絵画。技巧的すぎない絵画。絵画ではないが、緑豊かな自然の写真も適しているように感じる。心地よい音や香りを連想させる川や山、花などの写真や絵画。	女性	42
あらゆる業種に需要があると思いますが、コワーキングスペースなども、様々な人が集い、会話や知的刺激が自然に生まれることが望ましい場所なので、アートの需要があるのでは。また、業種共通で、①エレベーターホールや受付など待ち時間が発生する場所、②会議室、③社員食堂などにアートがあると、良い効果がありそうに思います。今回はトライアルということで素敵なアートを楽しむ機会をくださり、ありがとうございました。 アートの掲示がなくなると、寂しく感じそうです。	女性	45
様々。	女性	
オフィスではないですが、学校系には需要があると感じます。	女性	

アンケート結果 評価項目グラフ

実施：2018年3月～4月
n=12



加点方法—とてもそう思う (3点)、そう思う (2点)、感じない (1点)、全く感じない (0点)

障がい者アートは心地よさ、癒し等で高スコア

障がい者アートはアートが無いオフィスより圧迫感がない

問いの掲示も一定の評価がある。

アンケート結果 自由回答

オフィス内でのアートについて、どのような活用があると思いますか？	性別	年齢
<p>展示だけでなく、朝活的にワークショップ形式で鑑賞トークなど、ブレストのためのアイスブレイクのツールとして。また、キャンパスが置いてあって、自由記入式で作品が作られていく（と問いのテーマをもとに書いてもらう）、みたいなことができる面白かったです。</p>	男性	31
<p>普段仕事をする空間なので、アートがあることによりふと立ち止まることができ、心が癒やされ、自分との対話にもなり、積極的に取り入れてほしい。</p>	男性	34
<p>空間に飾ってある景色の一部ではなく、対話をするきっかけの物になると思う（お客さんとの会話のきっかけなど）</p>	男性	34
<p>お客さんを迎える受付スペースなどが良い。</p>	男性	51
<p>話題作り（来訪、初対面、メタ認知など）</p>	男性	
<p>来客スペース・会議室・リフレッシュルーム・食堂・トイレ等に飾る。会社PCのスクリーンセーバーに利用する。社員それぞれが好きなアートを選んで、そのアートやキャラクターを名刺にプリントする。(電通名刺カラーの様なイメージ)</p>	女性	32
<p>気持ちが良い意味で緩む瞬間があって良い。柔らかい気持ちになる、ほっとする。【補足】質問プレートがあったことに気づきませんでした。</p>	女性	33
<p>1~2ヶ月に1回変化があるオフィスのアートがあると良いと思いました。</p>	女性	44

アンケート結果 自由回答

どんな業種のオフィスにアートの需要があると思いますか？	性別	年齢
個人的には全て。	男性	31
業種によらず、打ち合わせスペース、人が集まるスペースに良いのでは	男性	34
癒しなら全ての業種、会話のきっかけなら、営業職や面談、取引の話を多くする業種	男性	34
病院、サロンなど、顧客を受け入れる業種はあるのでは。	男性	51
非デザイン性なものすべて	男性	
あらゆる企業に需要はあると思う。	男性	
硬い印象の仕事やオフィス。クリエイティブ性が低いジャンル。	女性	33
保険、コンサルティング、などコミュニケーションが重要な業種	女性	41
広いロビー、オープンスペース、カフェスペースがあるオフィス。	女性	44

オフィスにおける障がい者アートの 掲示あり・なしを比較した アンケート調査 まとめ

- ・障がい者アートによる「心地よさ」「空間が明るくなった」「癒しを感じる」「気分転換になる」における効果が見られた。
- ・「問い」のプレートによって「会話が生まれた」「創造性が刺激された」などの効果が見られた。
- ・自由回答においては、お客様を迎える空間に加えて、IT系、コールセンターなどデスクワークが主なワーカーに対する癒し効果の期待が寄せられた。
- ・何も掲示しない空間に対して、名画、障がい者アート共に、ワーカーに対する癒し効果が確認できた。

障がい者アートをオフィスに掲示することで、ワーカーのメンタル面に対する癒し効果が確認できた。

Appendix

オフィスにおける環境改善の動き

ますます求められるワーカーへの環境配慮（1）

「国交省 オフィスビル健康・快適性の認証制度を導入へ」

<http://www.mlit.go.jp/common/001228138.pdf>

http://www.mlit.go.jp/report/press/totikensangyo05_hh_000149.html

<最終とりまとめ>
ESG投資の普及促進に向けた認証制度のあり方について（2）

認証制度の評価要素は以下の内容が想定される。（※賃貸ビルについて、オーナーによる申請があった場合、評価対象はオーナーの資産管理部分となる。）

分類	評価要素	評価要素の内容	評価項目（例）	
基本性能	健康性・快適性	空間・内装	執務者の健康性・快適性を考慮した空間・内装が確保されていること。	高さ、広さ、内装計画、什器配置
		音	執務者の健康性・快適性を考慮した音環境が確保されていること。	遮音、吸音
		光	執務者の健康性・快適性を考慮した光環境が確保されていること。	照度、グレア対策、自然光、タスクアンビエント照明
		空気・空調	執務者の健康性・快適性を考慮した空気・空調が確保されていること。	室温、湿度、換気、空気質
		リフレッシュ	執務者のリフレッシュを可能とするための一定の措置が講じられていること。	トイレ・パウダールーム、キッチン、リフレッシュ設備、眺望、屋内・屋外緑化
	運動	執務者の運動を促進するための一定の措置が講じられていること。	階段、駐輪場、シャワー、健康に配慮した家具	
	利便性	移動空間・コミュニケーション	執務者にとって利便性の高い移動空間の形成や、執務者同士のコミュニケーションを促進するための一定の措置が講じられていること。	EV、廊下、打合せスペース
		情報通信	高度な情報通信を可能とするための一定の措置が講じられていること。	情報通信インフラ、OAフロア
		災害対応	災害や緊急時に備えるための一定の措置が講じられていること。	耐震性能、非常用電源
	安全性	有害物質対策	有害物質の発生を防止するための一定の措置が講じられていること。	
水質確保		給湯、給水の水質の安全性を確保するための一定の措置が講じられていること。		
セキュリティ		建物のセキュリティ確保のための一定の措置が講じられていること。		
運営管理	維持管理	維持管理について、計画・体制の整備、調査の実施等、一定の措置が講じられていること。		
	満足度	執務者の満足度を確保するための一定の措置が講じられていること。	満足度調査、テナントリレーション	
プログラム	プログラム	執務者の健康性・快適性等を考慮したプログラムの実施について、一定の措置が講じられていること。	メンタルヘルス対策、運動促進プログラム、交流促進プログラム	



リフレッシュできる環境整備

- メンタルヘルスセミナーの実施
- スポーツジムの利用支援
- ウェアラブル端末による健康管理

リフレッシュできるプログラムの実施

※健康とは、病気でないとか、弱っていないということではなく、肉体的にも、精神的にも、そして社会的にも、すべてが満たされた状態にあること。（WHO憲章）

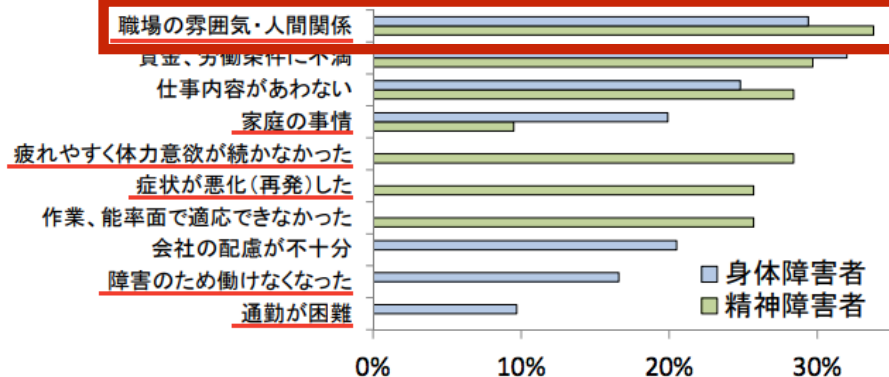
ますます求められるワーカーへの環境配慮（2）

「厚労省 障害者の継続雇用の現状」

参考：民間企業（45.5人以上の雇用） 障害者の法定雇用率 2.2%（2018.4～）

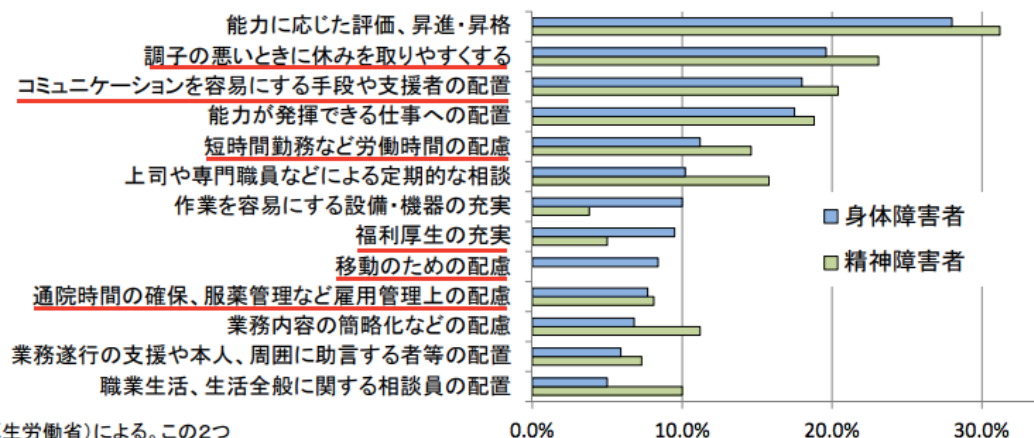
障害者の継続雇用の課題としては、仕事内容や賃金、評価等の労働条件のほか、職場の雰囲気や人間関係、体力との関係、通勤などの「働く場」に関する課題も多く見られる。

離職の理由 (個人的理由)



ワーカー向けアート制作、アート鑑賞によるチームビルディング

(仕事を続ける上で) 改善等が必要な事項



(出典)「平成25年度障害者雇用実態調査」(厚生労働省)による。この2つの質問に関しては知的障害者の方への質問は行っていない。